



Kawi

K. R. ラビンドラン
2015-16年度国際ロータリー会長



No.37・38

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“ロータリーをもっと知ろう”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 友愛奉仕活動を見直そう
- ③ 地区を知ろう

〈2016.4.15(金)・2016.4.22(金) 2回分掲載〉

例会 記 録 (2016.4.15(金)) 通算3,076回

移動例会 高砂青松RCとの献血例会

於：サンモール高砂 駐車場



献血受付風景



献血粗品

◆プログラム予定

4月29日(金)	5月6日(金)	5月13日(金)	5月20日(金)
休会 祝日のため	休会 (定款第6条第1節(C)による)	卓話 「高砂でインターアクトは 立ちあげれる」 脇谷政孝会員	卓話 「国税査察制度のあらまし」 堀 直樹会員

◆出席報告

本日 4月15日 会員数37名 欠席者10名 出席率 67.74%
前々回 4月 1日 会員数37名 欠席者 0名 出席率100.00%修正

◆MAKE-UP

大久保義郎会員	e-CLUB	4月10日
稲垣 直人会員	e-CLUB	4月15日
中野 哲郎会員	高砂青松RC	4月 8日
脇谷 政孝会員	高砂青松RC	4月10日
守光 隆会員	2015-16年度地区大会	4月 1日
守光 隆会員	2015-16年度地区大会	4月10日
谷川こずえ会員	2015-16年度地区大会	4月22日

例 会 記 録 (2016. 4. 22 (金)) 通算3,077回

◆開 会

◆唱 歌 ロータリーソング「我等の生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆ゲスト紹介

株式会社カネカ 高砂工業所長 落合様

◆歓迎歌「松の緑」

◆退会のご挨拶

株式会社カネカ 川勝厚志様



◆出席報告

本日 4月22日 会員数37名 出席者 25名 出席率78.13%
前々回 4月 8日 会員数37名 修正出席者31名 出席率93.90%修正

◆MAKE-UP

田代 和幸会員	e-CLUB	4月20日(4月15日)
稲垣 直人会員	e-CLUB	4月20日(4月22日)
後藤 宗久会員	e-CLUB	4月18日(4月15日)
堤 哲雄会員	e-CLUB	4月18日(4月15日)
大久保義郎会員	e-CLUB	4月18日(4月15日)
尾上 喜秀会員	2015-16年度地区大会	3月13日(4月15日)
増田 章吾会員	e-CLUB	4月18日(4月15日)
信原 智彦会員	e-CLUB	4月21日(4月22日)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

アートサロン内垣様……例会の貴重なお時間を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

佐野 敏晴会長……4月10日家族移動例会、4月15日献血例会、担当の委員会の皆さま、ご苦労さまでした。

川勝 厚志会員……四年間大変お世話になりました。大変楽しい仲間と楽しい思い出ありがとうございました。近隣にいますのでまたお誘い下さい。

名島 一成会員……出席100%祝い(34年)を頂きありがとうございます。

新井 哲三会員……結婚記念日祝いを頂きありがとうございます。

籠谷 啓一会員……家内の誕生日祝いを頂きありがとうございます。

早退3名

◆幹事報告(3,077回)

〈ガバナー事務局より〉

◎2015年-16年度会長賞に関する最新情報が届いております。

◎第38回地区ローターアクト年次大会について追加のご案内が届いております。

◎ソウル国際大会ガバナー主催夕食会(5/29)の登録状況が届いております。

◎the rotarian 5月号の冊子が届いております。

〈米山記念奨学会より〉

◎「ハイライトよねやま」193号が届いております。



後藤純次幹事

〈例会変更のお知らせ〉

◎姫路南RC 5月2日(月) → 休会

〈その他〉

◎神戸製鋼所高砂製作所より、退任・就任のご挨拶が届いております。

◎熊本地震被害支援へのご協力とお願いが届いております。

◎神戸まつりについてのご案内が届いております。

◎第38回RYLAセミナー受講生推薦と受け入れのお願いが届いております。

◎神戸垂水RCより、区民講座のご案内が届いております。

◎兵庫県肢体不自由児者協会より、平成28年度賛助会員費納入についてのお願いが届いております。

◎高砂市国際交流協会より、平成28年度総会及び講演会の開催についてのご案内と冊子・会費請求書が届いております。

◎相生RCより、週報が届いております。

◆会長の時間

本日の例会は、「ロータリーの友を読もう」ということです。時間に少し余裕があるようですので今日は、歯科の現況についてお話させていただきます。以前、後藤幹事から歯科医院はコンビニより多いんですねといわれました。全くその通りで昨年1月末時点で日本全国にある歯科診療所の数は68799カ所。日本全国コンビニは53309店で実際に歯科のほうがコンビニより多いという事です。

1980年代は、人口10万人当たり30数人だった歯科医が今では、80人近くになってきています。これは全国平均ということで都心にかたまっていますので地方ではまだ余裕があると思います。

どうしてこのように歯科の診療所が増えてしまったのかというと歯科医師の供給数の増加からです。1960年ごろ、う蝕（虫歯）が社会問題となりはじめ、歯科医療の充実が叫ばれるようになりました。

日本には当時歯科医師養成大学が7校しかなく、国は歯学部の新設を推進し、1965年までに6校に歯学部が設置され、その後1980年代前半にかけて16校に歯学部が新設・増設され現在では国立大学11校、公立大学1校、私立大学17校となっています。

また、この歯学部の増設とともに以前より入学定員の事が話題になっています。歯科医師過剰問題のひとつの要因として、歯学部新設・増設後にむし歯の減少などで歯科受療率が横ばいから低下したのにもかかわらず、現存の歯学部歯学科の入学定員を減少させていないことが指摘されています。国公立では定員を70人台に削減している学部も存在しますが、私立大学の場合は定員の減少は経営を圧迫する要因となり安易に踏み切ることは出来ない状況です。



佐野敏晴会長

日本の大学の医学部定員は約9000人であるのに対して歯学部単独の定員は約3000人です。近年では、国家試験の合格者数を減らすため国家試験の受験者の60%の2000人の合格者になり、非常に難関な試験になっています。本年度も合格者総数は1973名ですが受験者は3103名ということで全体の合格率は63.6%です。これを新卒のデータでみると受験者数は1969名、合格者数は1436名で合格率は72.9%ですが、出願者数は2536名ということで567名は受験させてもらえなかったということで、6年生の実質合格率は56.6%です。また、歯科は大きな病院で診療している所が少ないため、ある程度勤務するとほとんどが開業しなくてはならないというのが現状です。

高砂の場合は、人口約9万3千人で現在歯科医院は約35件ということで、まだ全国平均に達していませんが、数年前にはあまりなかったのですが昨年くらいから、播磨歯科医師会の加古川、高砂への入会希望者が増えてきていますし、歯科医師会へ入会せずに、開業する人も増えてきています。これは大阪、神戸で歯科医院が過剰になったので都市に近い加古川、高砂あたりが狙い目になっているのではないかと思います。

ちなみに私が所属する播磨歯科医師会の会員は、加古川、高砂、稲美、播磨で190人強です。しかし最近の若い歯科医師は歯科医師会に入会せずに開業する人も多く、未入会の会員は播磨歯科医師会のエリアで25人になります。実はアメリカでは、制度の違いもあるのですが成りたい職業の第1位は歯科医師です。日本では成りたい職業の200位ぐらいたそうです。歯科医師の未来のために歯科医師会も国も目先のことにとらわれず先を見越した政策を考えていただきたいと思います。

◆本日のプログラム

卓話 「ロータリーの友を読もう！」

プログラム委員会 坂井智代プログラム委員長



「ロータリーの友月間」を新設します

2月号の本欄「ロータリーの特別月間が変わります」というタイトルで、本年7月に始まる新年度からの新しい月間について紹介しました。ご存じのように、新しい月間の中には「雑誌月間」は入っていません。ですから、前述の記事の中で、「ロータリー地域雑誌の編集者としては、『雑誌月間』や『ロータリー理解推進月間』がなくなるのは少し寂しい気がしますし、心配でもあります」と書いたところ、多くの方から「雑誌月間：は残せないでしょうか」といった声をお寄せいただきました。

その件について、ロータリーの友委員会ならびに同理事会で検討し、「ロータリーの友月間」を新設することになりました。したがって、これは国際ロータリー(RI)で定める月間ではありません。「雑誌月間」ではなく、「ロータリーの友月間」としたのは、雑誌の一般的なことではなく、『ロータリーの友』に焦点を当てることによって、『友』誌のことと併せ、さまざまなロータリー情報について知っていただく機会になれば、と考えたからです。

「ロータリーの友月間」は9月になります。これまで通りの4月、『友』誌が創刊された1月など、候補はいくつもありましたが、大事なロータリー情報の取り方は年度が始まってできるだけ早い時期がいいだろうという意見に従って、9月に設定しました。

2月号にも書きましたが、「米山月間」はこれまで通り10月で、同月間もRI定めたものではありません。9月、10月と日本独自の月間が続きますが、日本の地域性を生かした活動を考える良い機会になればと思います。

RIでは、近年の公共イメージ向上のための活動の中で、イメージの統一ということを積極的に進めています。公式ロゴの変更をはじめ、出版物やホームページなどのデザインや色使いなどについても、ガイドラインを設けました。一方で、「地域性を大切にすることの重要性も理解し、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)には、メディアや広報の専門家として、統一したイメージの中に、地域性を出せるように支援するよう要求しています。

『ロータリーの友』のようなロータリー地域雑誌と呼ばれている雑誌は、全世界に31誌ありますが、そ

の中には、英語で発行されている雑誌もあります。もし、言語だけの問題なら、英語で発行する地域雑誌は不要ということになりますし、また、RI本部で発行している『The Rotarian』をそのまま翻訳して出版するだけで十分です。地域雑誌が出版されている大きな理由の一つが、地域の特徴ある活動をその地域のロータリアンが共有することにあると思います。また、『The Rotarian』の中からいくつかの記事をすべての地域雑誌にも掲載しているのは、全世界のロータリアンが共通して知っておかなければいけない情報があるということです。

新年度からのRIが指定した特別月間と日本独自の月間、それぞれがロータリーを知り、ロータリーのさまざまな活動を推進するよう、両立することを願っています。また「雑誌月間」から「ロータリーの友月間」と名前を変えた月間に、どのような活動をすればいいのか、皆さまのアイデアをいただけることをお待ちしております。新年度からの月間は下記の通りです。

- 8月 会員増強・拡大月間
- 9月 基本的教育と識字率向上月間
ロータリーの友月間
- 10月 経済と地域社会の発展月間
米山月間
- 11月 ロータリー財団月間
- 12月 疾病予防と治療月間
- 1月 職業奉仕月間
- 2月 平和と紛争予防/紛争解決月間
- 3月 水と衛生月間
- 4月 母子の健康月間
- 5月 青少年奉仕月間
- 6月 ロータリー親睦活動月間

(青字は、日本独自の月間)

『友』編集長 二神 典子

